記入例

様式第1号(第4条関係)

(表面)

指定給水装置工事事業者指定申請書

田原市上下水道事業

田原市長　殿

令和〇〇年〇月〇〇日

申請者　氏名又は名称　**田原水道株式会社**

住　　所　**田原市田原町南番場３０番地１**

代表者氏名　**代表取締役　田原　太郎**

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

役員(業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者)の氏名	
フリガナ 氏名	フリガナ 氏名
タハラタロウ **代表取締役　田原太郎** タハラジロウ **取締役　田原次郎**	
事業の範囲	**１．水道設備請負業** **２．給排水設備、厨房設備、衛生設備の設計、施工、請負** **３．前各号に付帯する一切の業務**
機械器具の名称、性能及び数	別表のとおり

記入例

（裏面）

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	田原水道株式会社
上記事業所の所在地	田原市田原町南番場３０番地１
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
田原　太郎 田原　次郎	○○○○○○○○ □□□□□□□□

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う事業所の名称	田原水道株式会社　渥美支店
上記事業所の所在地	田原市古田町岡ノ越６番地４
上記事業所で選任されることとなる給水装置工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
渥美　三郎	○○○○○○○○

記入例

別表(第4条関係)

機　械　器　具　調　書

令和○○年○月○○日現在

種別	名称	型式、性能	数量	備考
管の切断用の機械器具	電動丸のこ		1	
	エンジンカッター	鋳鉄管用	1	
	パイプカッター	塩ビ管、ポリ管用	1	
	電動金のこ	鋳鉄管、鋼管用	1	
管加工用の機械器具	電動ねじ切り機		1	
	ハンドバイス	管固定用	1	
接合工用の機械器具	インパクトレンチ	電動式	1	
	〃	エアー式	1	
	パイプレンチ	管径別（大・中・小）	1	
	トルクレンチ	トルク設定式	1	
	メガネレンチ	一式	1	
	ソケットレンチ	一式	1	
	せんこう機	サドル分水栓用	1	
水圧テストポンプ	水圧テストポンプ	手動175Mpa以上	1	

（注）　種別の欄には「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

記入例

様式第2号(第4条及び第7条関係)

誓　　約　　書

指定給水装置工事事業者申請者及びその役員は、水道法第25条の3第1項第3号イからへまでのいずれにも該当しない者であることを誓約します。

令和○○年○月○○日

申請者　氏名又は名称　　田原水道株式会社

住　　所　　田原市田原町南番場３０番地１

代表者氏名　　代表取締役　田原　太郎

田原市上下水道事業

田原市長　殿

記入例

指定給水装置工事事業者の情報確認書

【基本情報】

指 定 番 号	第　９９９　号
氏名又は名称	田原水道株式会社
住　　所	田原市田原町南番場３０番地１
電 話 番 号	０５３１－２３－３５３２
Ｆ　Ａ　Ｘ	０５３１－２２－３１８４
Ｅ－ｍａｉｌ	suido@tahara.co.jp
Ｕ　Ｒ　Ｌ	www.city.tahara.aichi.jp

この調査は、田原市の水道利用者に提供する情報の拡充を図るため、指定工事業者の業務内容や営業時間、主任技術者・従業員等の研修の機会の確保状況を確認するためのものです。お手数ですが次の質問にお答えください。

「公表の可否」の欄については、この調査の回答内容を田原市のホームページ等などで公表してもよいか否かをお答えください（可又は不可に○を記入してください。いずれにも○のない場合には、公表の同意が得られなかったものとして「不可」として取り扱います。）

※全問について回答をお願いします。

１．　上記の【基本情報】のうち公表してもよい項目に○を付けてください。

項　　目	公表の可否
氏名又は名称	可 ・ 不可
住　　所	可 ・ 不可
電 話 番 号	可 ・ 不可
Ｆ　Ａ　Ｘ	可 ・ 不可
Ｅ－ｍａｉｌ	可 ・ 不可
Ｕ　Ｒ　Ｌ	可 ・ 不可

記入例

２．　営業時間についてお尋ねします。

項　　目	公表の可否
午前・午後８時３０分から 午前・午後５時００分まで	可　・　不可

３．　定休日についてお尋ねします（以下に具体的にご記入ください。）

項　　目	公表の可否
≪例≫第２第４の土曜、日曜、祝日 毎週土曜日、日曜日、年末年始	可　・　不可

４．　田原市内における営業内容についてお尋ねします（複数回答可）

項　　目	公表の可否
ア．給水装置の新設、改造工事を行っている イ．給水装置の修繕工事を行っている。	可　・　不可

５．　修繕工事の受付をする時間・曜日等について、お尋ねします
（イ．を選択する場合は詳細をご記入ください）

項　　目	公表の可否
ア．質問２の営業時間に同じ イ．午前・午後９時００分から 午前・午後１６時００分まで ※ただし　毎週土曜日、日曜日、年末年始は除く	可　・　不可

６．　過去５年の間に、選任している主任技術者や給水装置工事に従事する者（従業員）に対し外部研修や社内研修等の機会を確保しましたか。

項　　目	公表の可否
ア．はい イ．いいえ	可　・　不可

※質問６の回答が「はい」であり、かつ、公表の可否を「可」とした場合、当該研修が外部研修のときは研修の実施機関及び研修名を（例：給水装置振興財団 e－ラーニング）、社内研修のときは具体的な研修内容（例：自社内研修 給水装置工事における事故事例と対策研修）を以下の表にご記入ください。なお、公平性を担保するため、社内研修のときは受講の事実を証明す

記入例

る書類の写し（受講票・修了証等。上記ｅ－ラーニングの場合には、試験実施履歴の画面の写し又は研修終了日が明記された給水装置工事主任技術者証の写し）を添付してください。添付がなかった場合及び以下の表に記入がない場合には、公表の可否が「可」となっていても質問６の回答の公表はいたしかねますので、予めご了承ください。

受講者名 （公表しません）	実施団体名・研修名	受講年月日
田原　太郎	給水工事振興事業団　ｅ―ラーニング	令和　8年　8月　30日
田原　次郎	自社内研修　〇〇に関する業務研修	令和　7年　4月　20日
田原　花子	給水工事振興事業団　ｅ―ラーニング	令和　7年　4月　13日

７．　過去１年以内の給水装置工事（本管から水道メーターまでの工事に限ります。）を施工する際に、適切な作業を行うことができる技能を有する者を従事させましたか。

項　　目	公表の可否
ア．はい イ．いいえ	可　・　不可

※ 質問７の回答が「はい」である場合、以下の表をご記入ください。

技能を有する者の氏名 （公表しません）	配水管への分水栓の取付・せん孔、給水管の接合、いずれの経験も有しているか （〇／×を記入）	資格を有しているか （〇／×を記入）	保有している資格 （下記参照）	工事年度
田原　太郎	〇	〇	配管工	R9
田原　次郎	〇	〇	講習会修了者	R8
田原　花子	〇	×		R8

※以下に示す保有資格等の名称（下線部のみ）を記載してください。

① 水道事業者等によって行われた試験や講習により、資格を与えられた**配管工**（配管技能者、その他類似の名称のものを含む）

記入例

② 職業能力開発促進法（昭和 44 年法律第 64 号）第 44 条に規定する**配管技能士**
③ 職業能力開発促進法第 24 条に規定する都道府県の認定を受けた職業訓練校の**配管科の課程修了者**
④ 公益財団法人給水工事技術振興財団が実施する配管技能の習得に係る講習の課程修了者（配管技能者**講習会修了者**、配管技能**検定会合格者**、配管**技能者認定**）

資格を証明する書類（資格証等）の写しを添付してください。

技能を有する者の氏名は、公表対象ではありません。
行数が足りない場合は、必要に応じてコピー等してください。

担当
田原市役所水道課
電　話　０５３１－２３－３５３２
Ｆ Ａ Ｘ　０５３１－２２－３１８４
E-mail　suido@city.tahara.aichi.jp